令和７年度　南条小学校スクールプラン

南越前町教育基本方針
人と文化を育むまちづくり
～自ら学び考え行動し、
ふるさとを愛する人づくりの推進～

南越地方教育委員会連絡協議会
学校教育推進計画　基本方針
一人一人の個性が輝く、
地域の未来を担う人づくり
○「個性を引き出す」教育
○「学びを楽しむ」教育
○「ふるさとの教育」

【教育目標】
ともに学び、豊かな心で未来を切り拓く子の育成

【目指す児童像】
進んで学ぶ子　思いやりのある子　力いっぱいやりぬく子

【目指す学校像】
児童が通いたい学校　教職員が働きたい学校　保護者や地域に頼りにされる学校

【目指す教職員像】
地域・学校に関わるすべての人の「命」と「人権」と「願い」を大事に、真心と情熱をもって、南条の子どもたちをチームで育む教職員団
・教職員個々の良さを生かす
・学びのチャンスを生かす

重点目標

1　確かな学力
◎基礎基本の定着
○わかる喜びを実感する授業づくり
○学習の習慣化
○読書活動の充実

2　豊かな心
◎道徳教育・人権教育の充実
○命の重みと大切さを感じる活動
○教育相談や特別支援教育の充実
○芸術・文化的な活動の推進

3　健やかな体
◎基本的生活習慣の育成
「早寝、早起き、朝ご飯」
○健康教育・食育の推進
○安全教育・防災教育の充実

4　伝え合う力・共感力（重点教科：道徳）
○自分の思いや考えを持ち、主体的に伝える
○うなずき・つぶやき・拍手で表現
○対話を通じて、練り合い・認め合い

5　信頼される学校づくり
◎家庭・地域・関係機関との連携
○意図や思いを伝える情報発信
○地域団体・施設と共にふるさと教育

具体的な取組・数値目標

ア）学習前の準備（用具・時間と気持ち）を整え、学習に向かわせる。【児・教 85%】
イ）学年や個に応じた学習の習慣を確立する。【児・教 90%】
ウ）言語活動を通して、主体的に思考し表現する授業づくりに取り組む。【教 90%】
エ）学習環境を整え、ICT機器を効果的に活用するなどして、学力の向上と定着に努める。【教 90%】
オ）朝読書や週末読書等、学年や個に応じた読書習慣を身に付ける。【児・保 80%】

ア）道徳教育や人権教育を核とし、学校生活全体で、他を思いやる心、仲間と協力し合う心を育てる。【児・教 80%】
イ）一人一人の長所を認め合い、自己有用感を高め、自他がかけがえのない存在であることに気付かせる。【児・教 80%】
ウ）自ら進んで挨拶し、「ありがとう」や「ごめんなさい」を素直に言う子を育てる。【児・教・保 80%】
エ）不登校やいじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。【児・教 90%】
オ）芸術・文化を身近に感じる鑑賞や発表の機会を設ける。【児 80%】

ア）保健指導や給食指導を通して、家庭との連携を図りながら、望ましい生活習慣を育成する。【児・教・保 80%】
イ）体育的行事・体育の授業・業間運動を通して、体力の向上と運動の習慣化を図る。【児・教 90%】
ウ）安全教育や防災教育を通して、自他の安全意識を高める。【児 80%・教 90%】

ア）児童同士が聴き合える関係をつくり、話し手を見ながら、耳を傾けて話を聴く。【児 80%】
イ）思いや考えを話し合ったり書いたりする場面を多く設定する。【教 80%】
ウ）対話する中で、知識の深まり、視野の広がり、他を認める寛容さを育み、確かな自己理解を促す。【児 80%】

ア）定期的な学校公開と、ICT機器の活用により、積極的に情報発信を行う。【保 80%】
イ）家庭と連携しながらデジタル・シティズンシップ教育を推進する。【児・教 80%】
ウ）総合的な学習のテーマに沿ったふるさと学習に取り組み、地域の事を調べたり、地域の人材を積極的に活用したりする。【児・教 80%】
エ）発達支持的生徒指導の基盤として、関係機関等と日常的に連携を図る。
オ）園・小・中の間での情報交換や交流を行い、連携を深める。

＜業務改善・教員の適正な勤務時間について＞
目的：心のゆとりを生み、教育効果を高めるため
◎カリキュラムマネジメントの視点で改善の意識向上
○チームで取り組むことによる負担軽減
○会議・研修等の開催方法・内容の見直しによる短時間・効率化
○一斉退勤日、退庁目標時刻の設定